事	業番号	08 02 03	事業	き改善シ	<b>一</b> ト(28:	年度実	施事業分)	口予算要	要求 [	口当初予	5算案 □	浦正予算:	案 ■点	検		
車	業名		Γ	全」の鮭	力発信す	医坐弗			+	部局	観光部	73				
	ж п	「食」の魅力発信事業費							担当	課・局・						
終之	含5か年	プロジェクト 2-2-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト							課 _	E-ma	il <u>bran</u>	d@pref.	nagano.l	<u>g.jp</u>		
計画		   施策の総合的展	した観光の 或づくり	た観光の振興 がくり			実施期間		Н	H20 ~						
λſ	コ定着・	信州創生の基本方														
確なしま	対な幕に記録の															
1 事業の概要																
<b>目指す姿</b> 観光では、おいしい料理を食べること、その土地ならではの料理を食べることは旅行であため、長野県の自然環境や歴史、地域文化に根ざした「おいしい信州ふーど(携により、信州の「食」として表現・提供し、県内外へ情報発信を行うことで食の魅力									土)」を	旅館や	ホテル、農			者との連		
(予	現状 ·算編成 時)	<ul><li>○地元でしか味</li><li>○宿泊施設料理</li></ul>	<ul><li>○県内への観光の目的として、「食」を重要視している観光客が増えている。</li><li>○地元でしか味わえないおいしい食べ物を旅行先で食べたい意向が強い。</li><li>○宿泊施設料理の満足度は高いが、地元食材などを活用した独自料理の提供への満足度は低い。</li><li>○信州の食について、野菜類が特においしいと感じている観光客が多い。</li></ul>													
県が関与		【左記の説明、根拠法令等】   個店では地域食材の生産者を知る機会が							なく、可	肝修会を	と通じて良る	ぎを知る_	上での橋渡	ましを県が		
9	る理由	県民との協働による実施: 実施中   行っている。														
		① 成果目標(H2	(8)		•											
成果目標• 事業内容			・食のPRに向けた食関連雑誌等への掲載(2件)(発信力のある雑誌等へ掲載し ・研修会への参加者 80名以上(H26実績の2割程度の増)(研修会への参加を追 ② 事業内容													
		項	項目    実施方法    H					28事業実績				(当初) (決算)		H29 (当初)		
		信州「食」の魅力を会の開催	浅研 直接	旅館、ホテル業者等を対象とした、信州金 するための現地研修会や食材の知識を ルアップ講座を開催した。							155 155		( 1/3/			
			進委割	委託 誌等に		品造成に向けた業界関係者の招聘、 よるPR、銀座NAGANOを活用した IE関連イベントを開催した。					2,454 2,454					
									合	計	2,60	9	2,609	0		
	区		27年度	28年度	29年度				成里E	目標の	<b>主成状況</b>					
車	Ī		2,干汉		20一尺						-1% 1K///L	H28		H29		
	予一	当初予算	2,608	2,609	0		項目	H26末	H2	27末 -	目標	成果	達成状況	目標		
	算 — 額	補正予算					関連雑誌等への	3件	,	4件	4件	4件	達成	_		
業		合計(A)	2,608	2,609		掲載		377		IT.	#IT*	411	建以			
コスト	Aの	一般財源 県 債	2,608	2,609		研( 数	答会への参加者	65名	9	7名	80名以上	63名	未達成	_		
	財源	国庫支出金														
	\ <u></u>	その他	0	0 000												
		算 額(B)	2,608 0.08	2,609												
	概 算 人件費			633	-											
		▼   100 弁八 円負(O) 事業費(B(A)+C)	3,270	3,242												
する	票に対 が成果	国内の女性向ける研修会についてに	推誌2件に力	叩え、海外の	の情報誌(w	veb版) に ナを図り、	も2件掲載し、海現地研修会のみ	・ 外向けに ゝにしたた	もPRす め参加	トること 者数が	ができた。	っなかった	÷			

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業	4 □ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施
にしていき たいか	研修会については他部局主催の類似事業との連携により実施するものとし、食のPRについては今後も訴求性の高い雑誌等に掲載するなどして、「食」の魅力を発信していく。